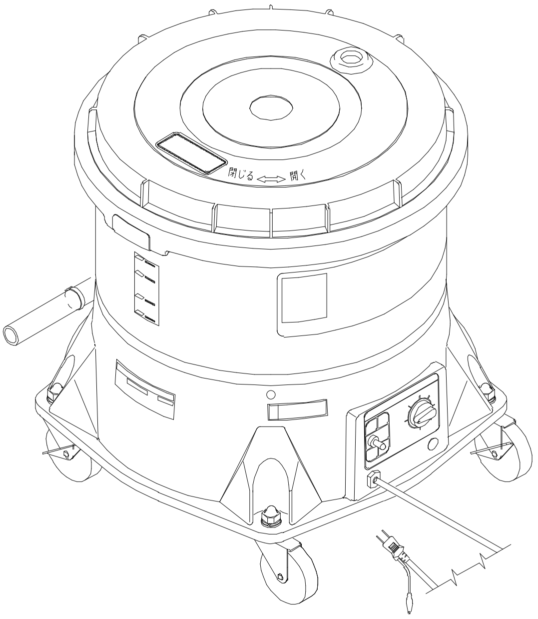
KYOKUTO

A99-H061-04

糊自動攪拌供給機

NEW PLUS1 HYPER

(NEW ﾌﾟﾗｽ1 HYPER)



取扱説明書

安全にお使いいただくために必ずお読み下さい。

この度は糊自動攪拌供給機「NEW ﾌﾟﾗｽ1 HYPER」をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を安全にお使いいただくための事柄を記載してあります。ご使用の前に、本書を最後までよくお読みの上、正しくお使い下さい。

また、本機をご利用の際、必要な時すぐに利用できるように本書を大切に保管しておいて下さい。

極東産機
H18.06.26
参考図

目次

「NEW プラス１HYPER」の特徴 ・・・・・・・・・・・・ 1
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
全体外観図及び各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・ 4
お使いになる前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
各部の操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
作業準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
作業要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
吸込作業要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
作業時の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
機械の掃除と点検 ・・・・・・・・・・・・・・ 12
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

NEW ﾌﾟﾗｽ１HYPERの特徴

・これ1台で糊の撹拌から供給･吸込まで可能です。

・糊の撹拌と供給・吸込はレバー操作で切り替えが可能です。

・タイマー式撹拌停止機能を採用。設定時間で停止するので、
撹拌し過ぎる心配がありません。

・密閉式ですので、糊へのゴミ、ホコリ等の混入を防ぎます。

・糊の供給が簡単にできるフットスイッチ対応（オプション）

・自動壁紙糊付機Ｈｉβ－ＶＬ、ＧＤ、ＧＤａｓｈ、ＧＤａｓｈⅡ、
ＡＴＨＬＥＡＤとの接続により、糊の自動供給が可能となります。
（接続には糊検知、糊供給ジョイント等のオプション品が必要です。）

安全上のご注意

本機を御使用頂くには、正しい操作と定期的な保守・点検が不可欠です。以下の注意事項及びこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分理解されるまで作業は行わないで下さい。

この取扱説明書では、取扱いを誤った場合発生が予想される危害、損害に対する注意事項をその程度により ⚠［警告］ ⚠［注意］［メ　モ］という３項目に分類して表示しています。

⚠［警告］‥‥　この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合は、重大な事故につながる恐れのある注意事項を示しています。

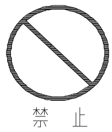
⚠［注意］‥‥　この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合は、機械の破損・故障につながる恐れのある注意事項を示しています。

［メ　モ］‥‥　これを知っておくと便利！という補足事項を示しています。

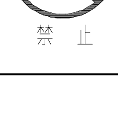
⚠警告

・電源プラグを差し込むときは、必ず運転スイッチが「OFF」になっていることを確認して下さい。突然撹拌ブレードが回転したり、ポンプが作動して糊があふれ出す等の事故を未然に防ぎます。

・ポンプ及び撹拌作業中は、絶対に切替レバーを切換えないで下さい。又、切換レバーの切り換えは必ず運転スイッチを「OFF」にしてから行って下さい。



・運転中はバケツや底カバー内に手を入れないで下さい。けがをする恐れがあります。



・水や糊で濡れた手で操作しないで下さい。また、アースを必ず取ってご使用下さい。感電する恐れがあります。

⚠注意

禁 止

・精密機械のため、ぶつける、落とす等の強い衝撃を与えないで下さい。

禁 止

・高温・多湿な場所に保管しないで下さい。特に夏季、日光の当たる車中に放置しないで下さい。変色、変形することがあります。

禁 止

・バケツ内には、水・糊以外の異物（パテや砂や小石やカットテープ等）を入れたり吸込んだりしないで下さい。故障の原因となります。

禁 止

・ポンプの空運転は絶対にしないで下さい。ポンプ故障の原因になります。

禁 止

・糊の原液や粘度の高い糊（粘度10000cp以上の糊)をポンプで吐出・吸込を行うと故障の原因となりますので、絶対にしないで下さい。

禁 止

・運転スイッチの切り替えは、必ず撹拌及びポンプが完全に停止したのを確認後、行って下さい。

注 意

・使用後は必ず洗浄を行って下さい。洗浄せずに長期間放置した場合には、ポンプ内で糊が腐敗し、次回の作業に悪影響を及ぼす場合があります。また故障の原因にもなります。

注 意

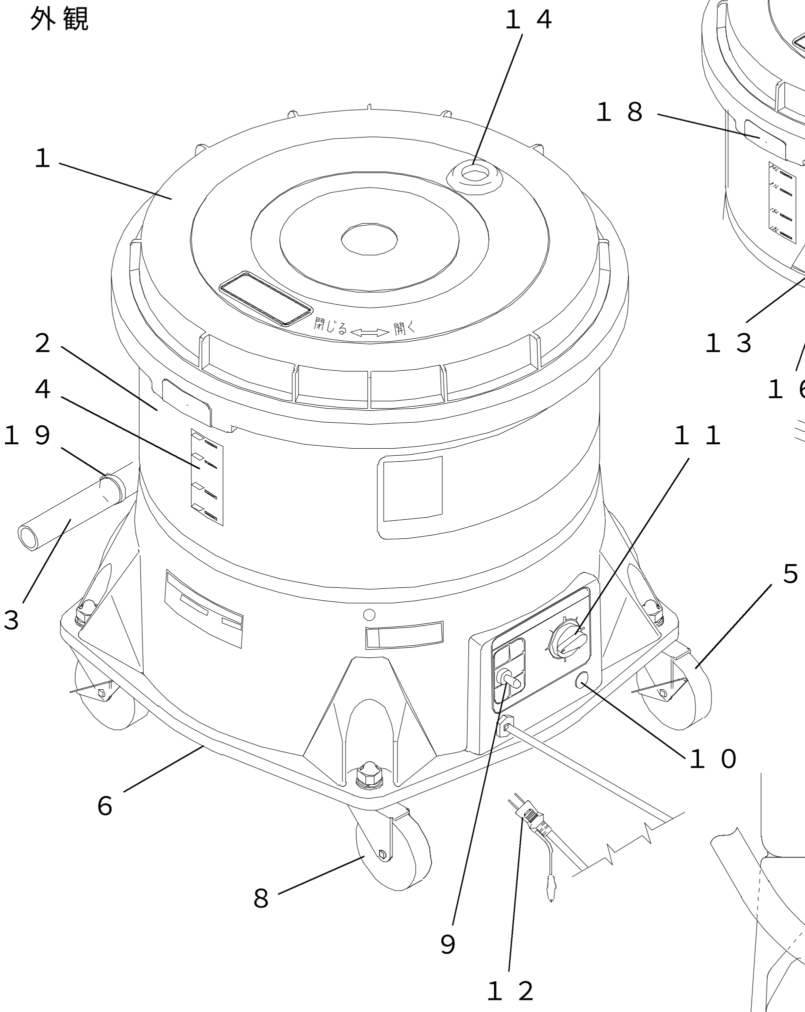
・運転中は、必ずキャスターのロックを行って下さい。動いたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

注 意

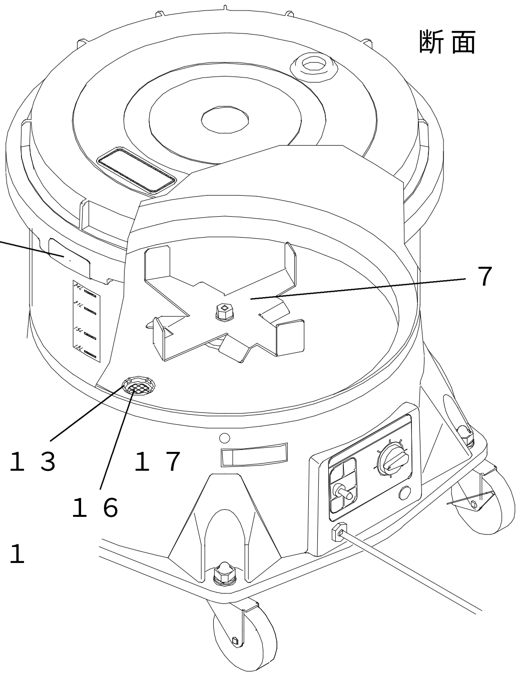
・運搬するときは蓋をしっかり閉め、ホースを固定して下さい。また、運転中も蓋をしっかりと閉めて下さい。糊こぼれるを未然に防ぎます。

全体外観図及び各部名称

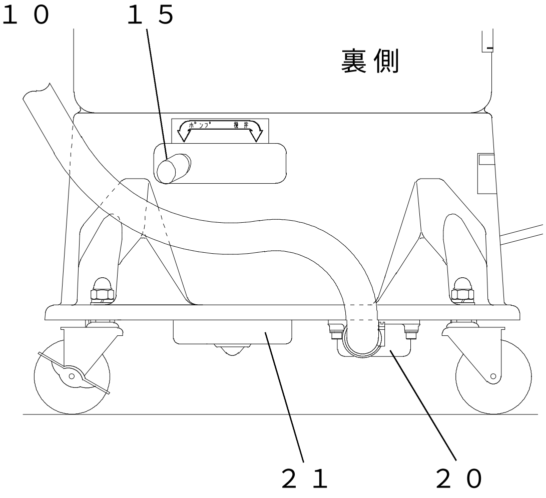
外観



断面



裏側



１．蓋
２．本体
３．糊供給ホース
４．水量目盛り
５．ブレーキ付キャスター
６．底カバー
７．撹拌ブレード
８．キャスター
９．運転スイッチ
10．拡張用スペース
11．撹拌タイマー
12．電源プラグ
13．吸入口
14．ホース差込口
15．切替レバー
16．網押さえ
17．網
18．滑り止めテープ
19．ホース目印
20．ポンプ
21．モーター

（拡張用スペースについて）

拡張用スペースを利用し、オプションユニットの取り付けが可能です。

オプションユニット：フットスイッチ　品番１１－６３３９

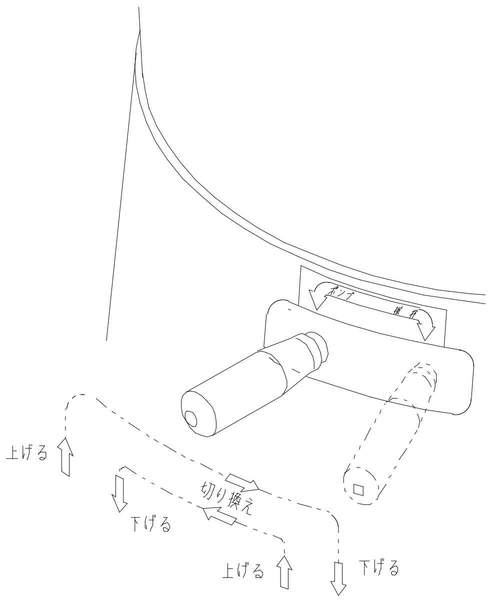
お使いになる前に

各部の操作

撹拌・ポンプ切替レバー ・・・・・・・・ 糊の撹拌とポンプによる糊の吐出、供給の切り替えを行います。

撹 拌 側／糊の撹拌が出来ます。

ポンプ側／糊の供給・撹拌が出来ます。



切り換え方法

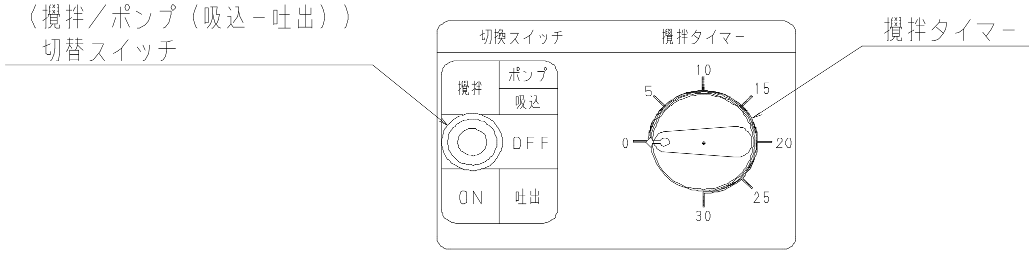
レバーを上方向に上げて、撹拌（ポンプ)の位置にスライドさせます。次に、下方向へ押し下げます。

> MEMO
>
> 切替レバーは内部にあるガイド溝に沿って移動出来ます。
> 切替レバーの固定は両端で下方向に押し下げると固定できます。

撹拌時間タイマー ・・・・・・・・・・・・・・ 撹拌時間を設定します。タイマーが０になると、撹拌を停止します。（ポンプはタイマーに関係なく動きます。

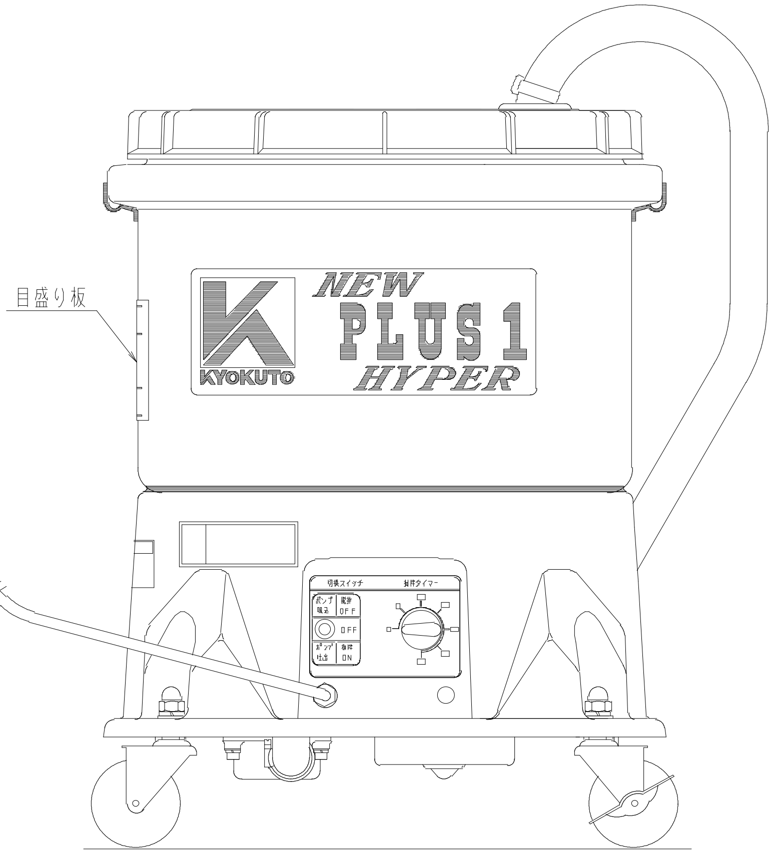
> MEMO
>
> 時間の目盛りは目安です。

運転スイッチ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ポンプ運転の吐出-吸込および撹拌のON-OFFの切り替えを行います。



目盛板 ························ 本体側面に、水量計測用の目盛が付いています。計量の目安としてご利用下さい。

> MEMO
> 目盛は量の目安です。正確に計量する場合は計量バケツ等をご利用下さい。



作業準備

1．NEW プラス１HYPERを設置します。
　キャスターは必ずロックして下さい。

> MEMO
> キャスターは外観図のように外側を向けて設置すると、転倒等の事故を未然に防げます。

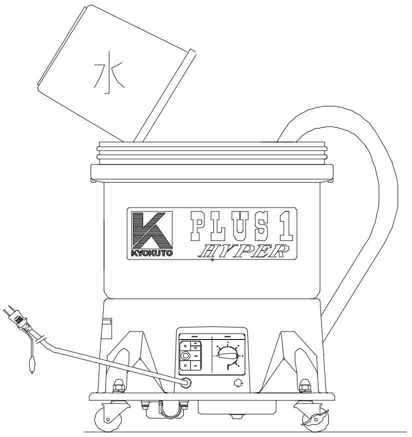
2．運転スイッチがOFFになっていることを確認し、電源プラグを電源（AC100V）に接続して下さい。

3．バケツなどの別の容器に水を必要量用意して下さい。

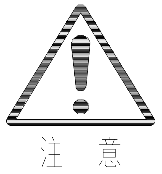
作業要領

◎ペースト糊（βノーリSシリーズ等）を撹拌する場合

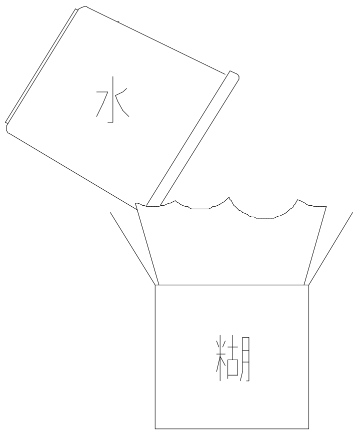
あらかじめ糊の希釈率を決め、糊と必要量の水を準備しておきます。
ここでは、糊：水＝100：70（糊18Kg：水12.6ç）の場合を想定して説明します。



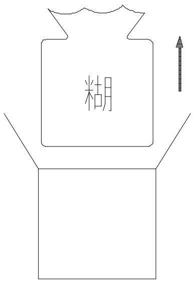
①NEW プラス1 HYPERの蓋を　開けて、先に水を約11çほ　ど入れます。
このときホースは容器の中に入れておいて下さい。



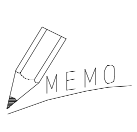
必ず水を先に入れて下さい。糊を先に入れると撹拌できず、故障の原因となります。



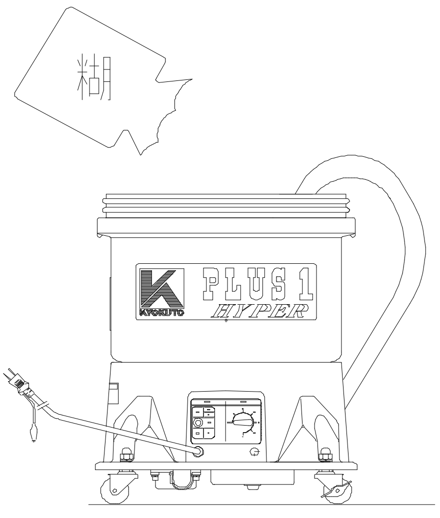
②糊の袋を開け、袋の中に残りの水を入れます。次に袋の口を握り水が袋と糊の間に入り込む様にして、袋と糊が剥がれやすくしておきます。



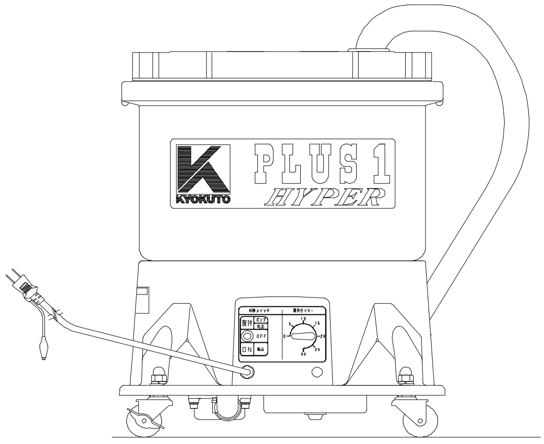
③箱から袋ごと糊を取り出します。



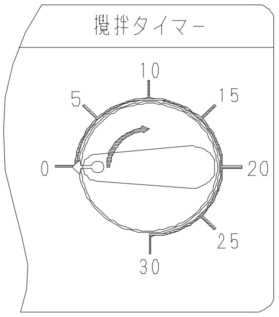
取り出した糊を手でもみほぐし、４分割くらいにつぶしておくと袋から出しやすく、スムーズに撹拌できます。



④糊を NEW プラス１HYPERに　袋の中の水と一緒に入れて　下さい。
この時、糊を４分割位につぶしておいて下さい。



⑤しっかりと蓋をして下さい。
このときホースは差し込み口に差し込んでおきます。



⑥本体背面にある撹拌・ポンプ切替レバーを「撹拌」にしてタイマーつまみを右に回して撹拌時間（約１０分）を設定し、運転スイッチを 「撹拌 ＯＮ」に入れると撹拌を開始します。
（強力撹拌羽根を使用している為、長い時間撹拌すると糊が柔らかくなりすぎますので注意して下さい。）

MEMO
撹拌時間を５分以下に設定する場合は、つまみを一旦５分以上の位置まで回した後、左へ戻しながらあわせて下さい。

⑦　撹拌が終わった後、ポンプ内に残っている水を吐出します。

撹拌・ポンプ切替レバーを「ポンプ」に切り替え、運転スイッチを「吐出」にしてポンプ内に残った水を本体内へ移します。水が抜けた頃を見計らって、再度レバーを「撹拌」に切り替えて、運転スイッチを「ＯＮ」にしてしばらく撹拌して下さい。

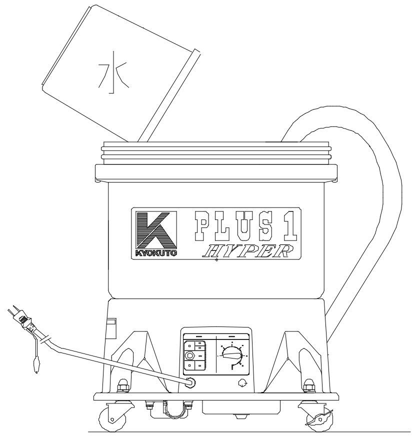
⑧　糊を入れたい容器にホースを差し込み、切替レバーを「ポンプ」に切り替えて、運転スイッチを「吐出」にして糊を供給して下さい。

MEMO
通常１０分程度で撹拌できますが、水温、溶かす量によって時間は変わります。混ざり具合が悪いときは再度撹拌して下さい。

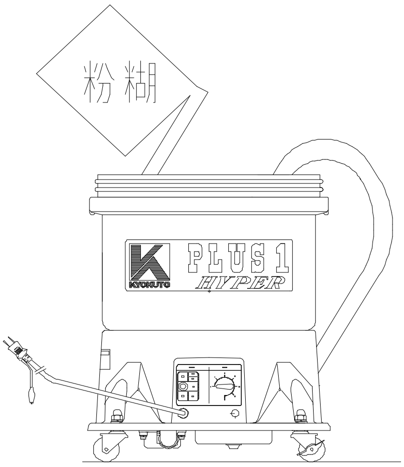
◎粉糊（コナダインＳシリーズ）を撹拌する場合

粉糊（コナダインＳシリーズ）を撹拌する場合は、下記手順に従って作業するとより効果的です。

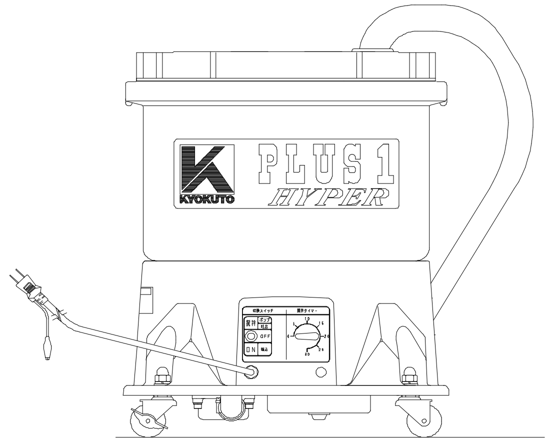
粉糊１kgに対して水７～８ç の割合で溶かします。（粉糊３Kgの場合水21～24ç）



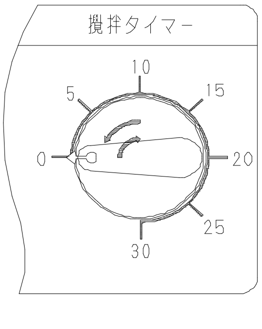
①バケツ内に、必要量の水を
　入れます。
　目盛板の21ç又は24çの
線　を目安に適量の水を入れ
て　下さい。



②粉糊を入れます。



③蓋をしっかり閉めます。
　ホースは蓋の穴から中にバンドの位置まで差し込んで下さい。



④タイマーつまみを右に回して、撹拌時間を設定し（約10分）、運転スイッチを「撹拌 ON」に入れると、撹拌を開始します。

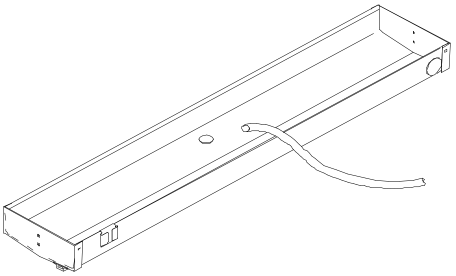
以降は、ペースト糊の手順⑦以降と同様に作業を行って下さい。

MEMO

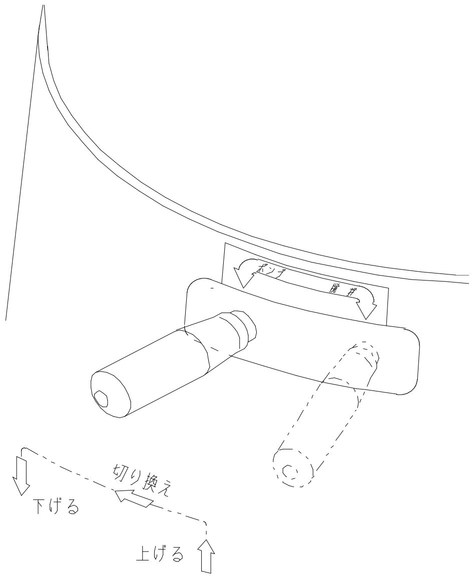
・撹拌時間は、水温、溶かす量によって変わりますので、上記の時間は一応の目安として下さい。

吸込作業要領

① ホースを糊の残っている糊付機の糊箱に入れます。



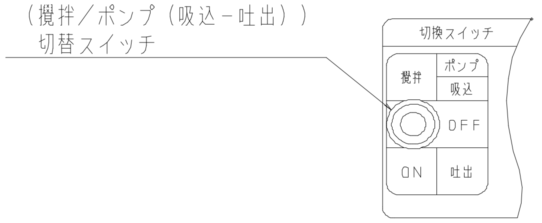
② NEWプラス１HYPERの切替レバーを「ポンプ」に切り替えて下さい。



注 意

切換レバーは必ず運転スイッチを「撹拌 OFF」にしてから切り替えて下さい。

③ 運転スイッチを「ﾎﾟﾝﾌﾟ 吸込」にして下さい。



MEMO

糊箱に残っている糊はヘラ等で、ホースの入口までかき集めて下さい。
ポンプの空吸い防止になります。

注 意

切替レバー操作後は必ずレバーがロックされていることを確認して下さい。

作業時の注意事項

感電等の恐れがあるため、必ずアースを取ってから使用して下さい。

転倒等の事故を防止するため、キャスターは必ずロックし作業を行って下さい。

電源プラグをコンセントに差し込む場合は、必ず運転スイッチが「ＯＦＦ」になっていることを確認して下さい。突然攪拌ブレードが回転したり、ポンプが作動して糊があふれ出す等の事故を未然に防ぎます。

ポンプ及び攪拌の作業中は、切替レバーを絶対に切り替えないで下さい。
又、切替レバーの切り替えは、必ず運転スイッチを「ＯＦＦ」にした上で実施するようにして下さい。

切替レバーは、切り替えた後、確実に下に押し下げて下さい。
切替レバーが確実に押し下げられていないと、ベルトの破損につながります。

通常、糊の攪拌時間は１０分程度です。必要以上に長く攪拌しないで下さい。
又、ポンプの空運転は行わないで下さい。機械の故障の原因となります。

頻繁に使用された場合や長時間に亘って使用された場合など、モーターの温度が上昇すると、保護回路が働いてモーターが停止します。
このような場合は、電源を切ったまましばらく放置して下さい。モーターの温度が下がれば保護回路は自動的に復帰します。

糊の吸込みは、必ずポンプ内に糊、又は水が入った状態で行って下さい。
ポンプ内が空の状態では吸込みする事が出来ませんので注意して下さい。

攪拌した糊を使用後、続けて別の糊を攪拌するときは、必要な量の水を入れたあと一度ポンプを運転させ、ポンプ内に残った糊をバケツ内に吐出した後に糊を投入・攪拌して下さい。

低電圧（９０Ｖ以下）状態では、機械が作動しなかったり、攪拌･ポンプ能力が落ちる場合があります。このような場合は昇圧器等で正常な電圧に上げてお使い下さい。

冬場など、気温が低い状態での放置は、糊の吐出、吸込性能が低下する場合があります。

機械の掃除と点検

作業終了後は、機械の掃除を行って下さい。
蓋をしっかりと閉めておけば、糊の保管は数日間可能ですが、保管が長期に亘る場合は、糊を別の容器に移し、機械の清掃を行って下さい。

掃除を怠った場合、ポンプ内で腐敗し､次回の作業に悪影響を及ぼす場合があります。
また、ポンプ内で糊が乾燥し、故障の原因となります。

「掃除の要領」

１．バケツ内に糊が残っている場合は、別の容器に移して下さい。

２．バケツ内に水を入れ、蓋をしてホースを蓋のホース差込口にホース目印の位置まで入れます。
切替レバーを「撹拌」にして、運転スイッチを「撹拌　ON」にし､タイマーを1～2分に　合わせて撹拌します。
次に､切替レバーを｢ポンプ｣にして、運転スイッチを｢ポンプ　吐出｣にしポンプ内の糊が排出されるまで､しばらく水を循環させます｡ポンプ内の糊が排出出来たならば、ホースを別のバケツや排水設備に挿入して容器の中の水や糊を吐出して下さい。

３．容器内の水や糊を排出後はポンプを止め、電源を切った後にバケツ内側に付着した糊を洗い落として下さい。
吸入口や撹拌ブレードの周りは、特にきれいに洗って下さい。

４．残った水を捨て、乾いた雑巾などで水分を拭き取って下さい。

注　意

NEW プラス１HYPER の外側を洗う際は、底カバー内に水が入らないように
注意して下さい。水が入った場合は、モーターが漏電、ショートする恐れ

注　意

NEW プラス１HYPER のスベリドメテープは糊や水の影響で、長年の使用中
に剥がれる恐れがあります。消耗品ですので、剥がれたら貼り直して下さい。
剥がれたままお使いになると、持ち運びの際にすべる事があります。
（別売）（品番０１－０１０３）

NEW プラス１HYPERの消耗品にはスベリドメテープの他に以下の物があります。これらの消耗部品は、保証期間中であっても使用方法や糊や水や保守の 状態で劣化する事があります。
部品劣化の際には、お取り替え下さい。(有償)

スベリドメテープ・・・・・・・品番　01-0103
蓋用パッキン・・・・・・・・・品番　C10-3477-04-01
ホース・・・・・・・・・・・・品番　00AG20093（吐出/吸込用）
　　　・・・・・・・・・・・・品番　00AG20099（容器/ﾎﾟﾝﾌﾟ間用）
駆動用ベルト(ﾎﾟﾝﾌﾟ/撹拌)・・・品番　00HA90105
網・・・・・・・・・・・・・・品番　C10-4567-02-01
ホース差込口・・・・・・・・・品番　00EK20235
ホース目印・・・・・・・・・・品番　00EJ80072(黒)
各種シール類・・・・・（各種シールについてはお問い合わせ下さい。）

仕様

外形寸法　H610×φ460 mm
重　　量　約19Kg
動　　力　AC100V・480W
容器容量　40ç（有効36ç）
糊供給量　約15ç／分（水：糊＝0.5：１、60Hz)
糊吸込量　約 8ç／分（水：糊＝0.5：１、60Hz)
撹拌時間　約10分間（水：糊＝0.5：１）

※糊供給・糊吸い込み量・撹拌時間は使用される糊および希釈倍率によって異なります。

製品仕様は予告無く変更する場合があります。

お問い合わせ先

KYOKUTO

インテリア機器の総合メーカー

極東産機株式会社

〒679-4195兵庫県たつの市龍野町日飼190 TEL0791-62-1771
URL http://www.kyokuto-sanki.co.jp/

お客様相談室　0120-079177（土・日・祝日を除く 10:00～18:00）